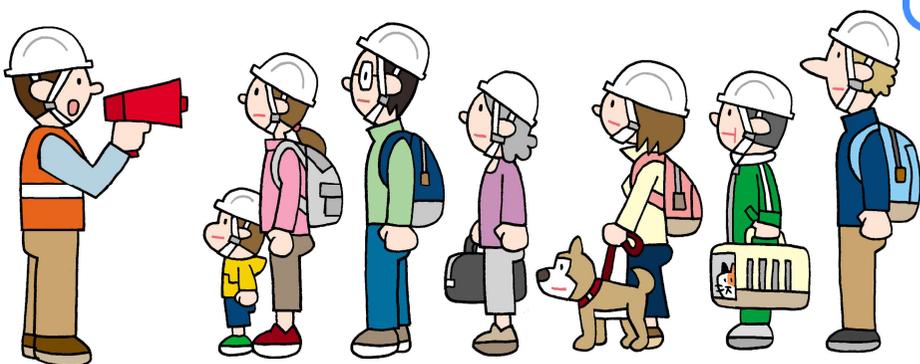


令和8年度 提案事業 わくわくプロジェクト

水戸市防災士協会



みとちゃん



みと防災DXサポートプロジェクト

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは? デジタル技術で、人々の生活をより良いものへと変革



協会紹介

発足：2025年4月6日 在籍29名

防災士資格認証（日本防災士機構）

347,564 名の防災士が認証（累計）※2026年1月末日時点

茨城県登録者 7,031名

水戸市内居住者：各種団体に所属

※協働事業提案書〔役割〕提案団体に、所属詳細記載あり



（平常時）防災意識の普及、啓発活動、防災訓練・研修等

（災害時）避難所開設支援・運営補助、被災者支援等

理念「自助・共助・公助」 水戸市民から頼りにされる協会を目指す

事業の概要

みと防災【IT・DXサポート活用講座】開催

～ 防災 IT・DX支援員の人材育成 ～



防災・デジタル情報ツールを体験し、活用するための講習会



R7水戸市洪水 ハザード避難訓練 (DX実証実験)

参加者に高齢者が多い

65歳以上 高齢者
水戸市人口の約28%
(およそ 7.4万人)
※水戸市の人口約26.5万人



SNS・IT・スマホが苦手な市民、高齢者等

SNS・スマホ操作が不慣れな市民にとっては、
災害情報の取得は、ハードルが高い

スマートフォン・デジタル活用が難しい現状

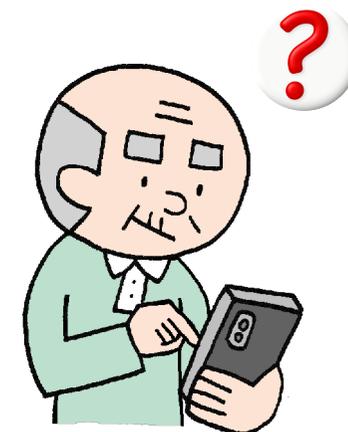
(QRコードの読み込みが、できない高齢者が多い)

※ 総務省の調査で70代の約3割が「スマートフォン操作に不安」

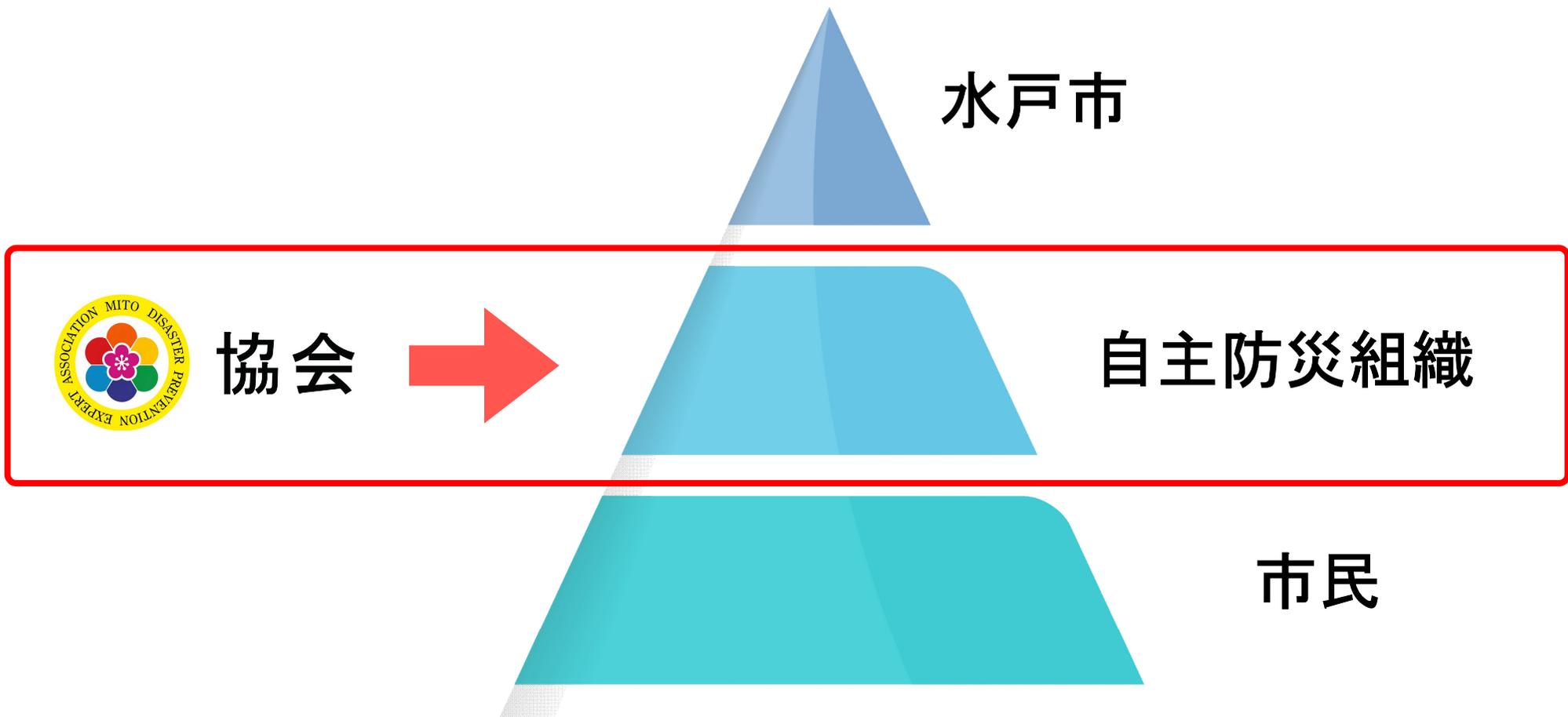
防災訓練等では、

説明する人員や対応時間が限られる

市の職員は、フォローが難しく「支援・対策が必要」



本講座のターゲット



事業による効果

支援人材の育成

災害情報の
取得に
ついて



事業による効果 ～支援人材の育成～

みと防災【IT・DXサポート活用講座】

- ① 災害関連情報を適切に入手(デジタルデバイス解消)
- ② 市民の被害低減(早めの避難・二次被害予防)
- ③ 避難所運営等のDX導入を踏まえた対応強化
- ④ IT・DX普及に係る市の負担軽減(予算軽減)

水戸市 + 防災士協会 + 地域団体

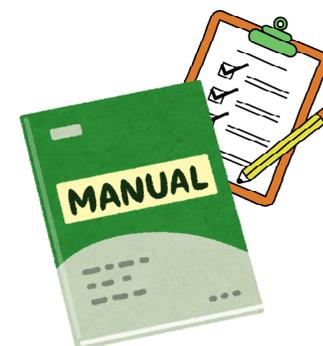
「連携体制の強化」協働



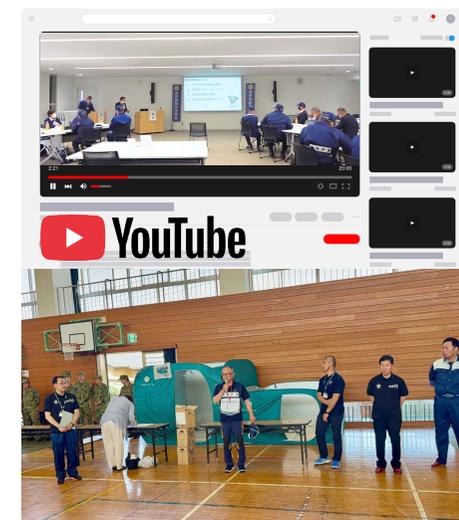
水戸市WEBハザードマップ
2026年2月より提供スタート



協会作成
非接触NFCカード

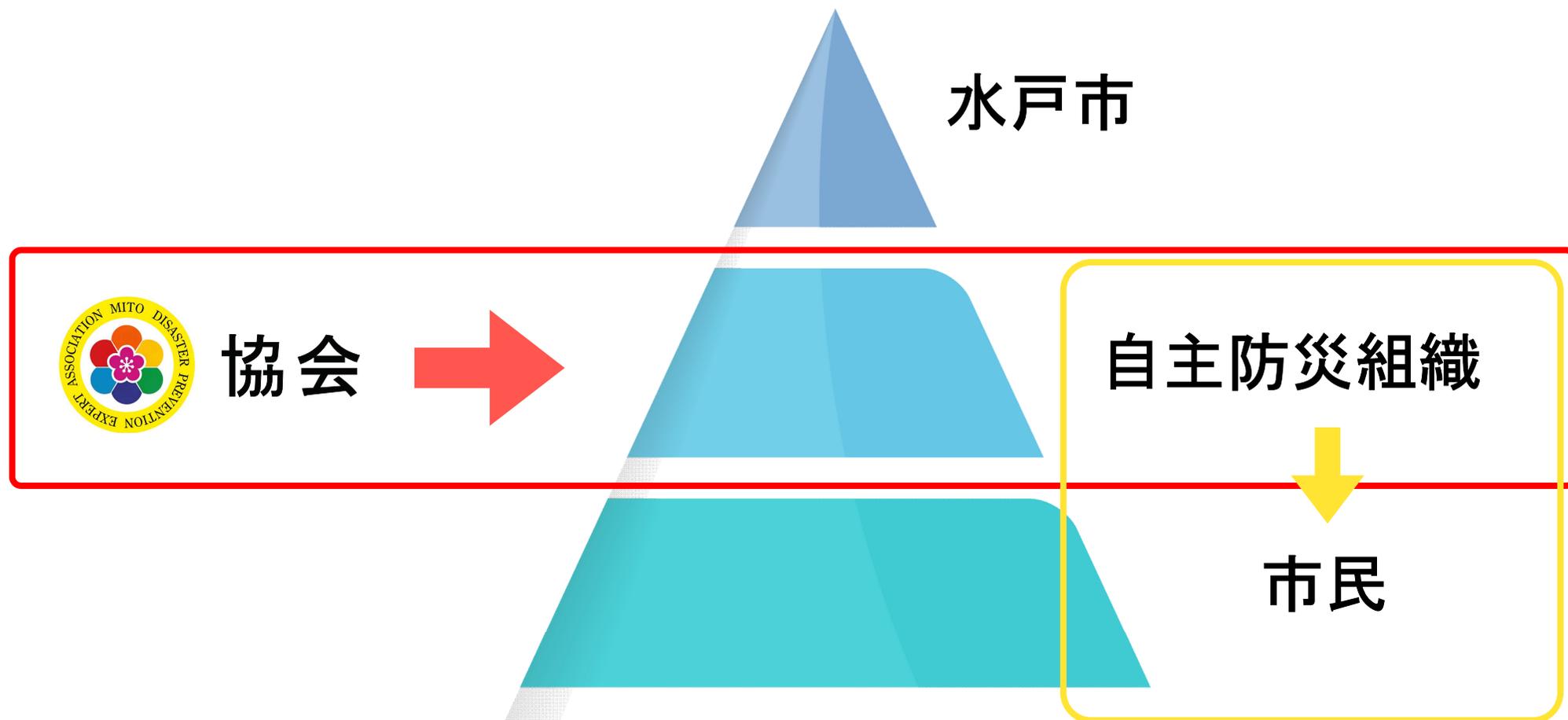


講習テキスト
対応マニュアル
制作



講習内容を配信

本講座による効果



事業による効果 ～ 3,000人への支援効果 ～

対象者：市内34地区 自主防災組織 等

年間7回開催 各回 30名程度

受講対象者 210名程度

受講者1人が、自分の町内会等の会議等で

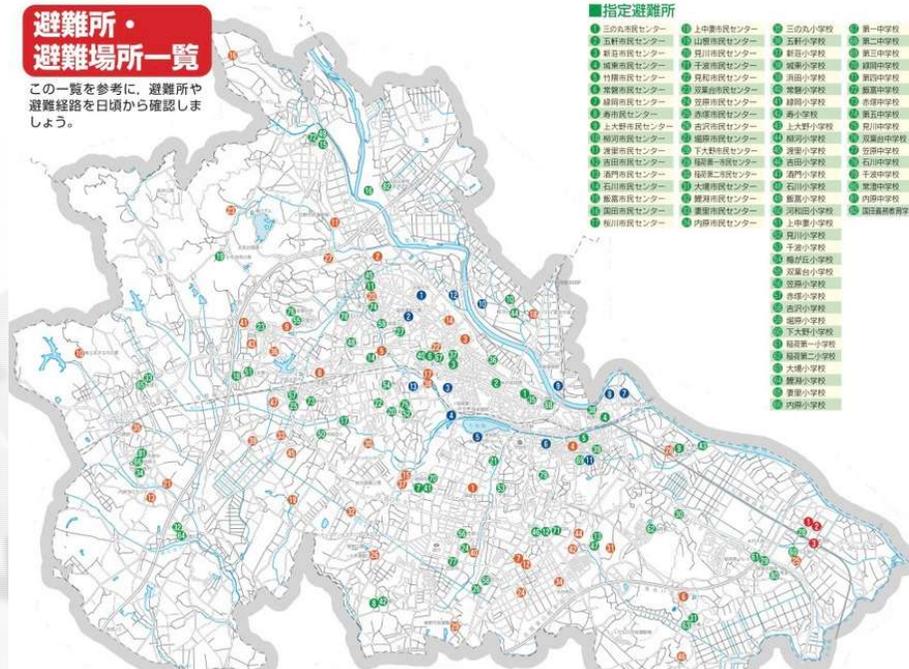
市民15人へ普及啓発 (210人 × 15人)

※ 地域団体が啓発講習時は、防災士協会がサポート可能

支援効果、約 3,000人規模へ拡大を目指します

避難所・避難場所一覧

この一覧を参考に、避難所や避難経路を日頃から確認しましょう。



市内7エリア

水戸市防災士協会
会員29名が支援



講習会開催 役割分担

① 地域の災害リスクについて(防災危機管理課職員)
水戸市34地区団体・支援者候補(講習開催の連絡)

② 正確な災害情報の取得(命を守る為に)
※ 水戸市防災士協会(防災士)により、情報取得の重要性を解説
参加者へ防災情報活用のアドバイス(講習会運営・情報発信)

③ 専任講師による、IT・スマートフォン活用講習(高齢者向)

④ **グループワーク**(防災士がサポート)
(例)水戸市公式LINE(防災情報取得設定)

- ・(新)水戸市 WEBハザードマップ活用
- ・デマ情報・フェイク動画、詐欺メールの見分け方
- ・NFC 非接触カード・QRコード読取
- ・災害伝言ダイヤル活用、防災アプリ等 活用



ツイッターに投稿されたライオンの画像=熊本県警提供

スケジュール・収支計画

収支計画書

(単位：円)

〔実施スケジュール〕

時 期	内 容
2026. 4	全域キックオフミーティング 外部講師との講習会打合せ
2026. 5～ 2027. 2	講習会開催（全7回）
2026. 11 2027. 3 適宜	中間情報共有会 事業総括・評価 理事会にて事例・情報共有・対策検討

区 分	金 額	積算内訳	備考
【収入】			
補助金	450,000 -		
協会支出金	60,000 -		
収入合計（A）	510,000 -		
【支出】			
印刷製本費	60,000 -	説明資料・チラシ等	
諸謝金	350,000 -	年7回（7地区）	
消耗品費	40,000 -	筆記用具等	
通信運搬費	60,000 -	LINE 有料プラン	月額5,000 -
支出合計（B）	510,000 -		
収支差額（A） - （B）	0 -		

役割分担
地域連携
協働イメージ

国・県

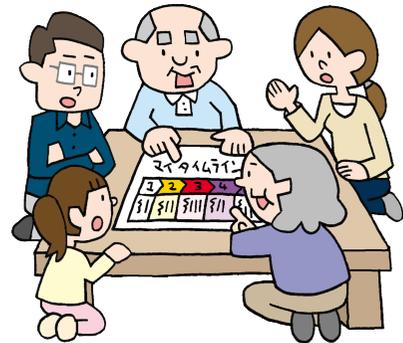
水戸市

防災士協会

地域・団体



水戸市民



災害はいつ起こるかわかりません

水戸市は、支援人材を育成し、
“情報ツールを使える状態に”
防災IT・DXを進めなければいけません

ご清聴ありがとうございました

